

[ライブ・サーティ]

# Live30

<http://www.omichikai.or.jp>

VOL.

222

2017年  
5月-6月



## CLOSE UP

医療介護従事者として求められるコミュニケーション方法や大道会の役割・取り組みを学ぶ

## 平成29年度新人教育集合研修を開催しました

## OMICHI ACADEMY

2nd International Brain Stimulation Conference 2017

回復期リハビリテーション病棟協会 第29回研究大会in広島

医療事故調査制度に係るトップセミナー

## OMICHI SCRAMBLE

音楽鑑賞会を開催しました

第41回 病院職員永年勤続表彰者

第5回 地域ケアマネ向け勉強会を開催しました

## INFORMATION

荒井院長就任のお知らせ

森之宮病院診療部形成外科 藤原貴史医師の論文が医学ジャーナル”Journal of Plastic, Reconstructive & Aesthetic Surgery”に掲載されました



最優秀賞  
「Live30」  
雑誌「Live30」に掲載された  
森之宮病院で発行された「Live30」が、  
日本医療情報学会  
賞状を授けられました。

平成29年4月に大道会へ入職した94名の新人職員を対象に今年度も「新人教育集合研修」を開催しました。本研修の目的やプログラム内容をご紹介します。

医療介護従事者として求められるコミュニケーション方法や大道会の役割・取り組みを学ぶ

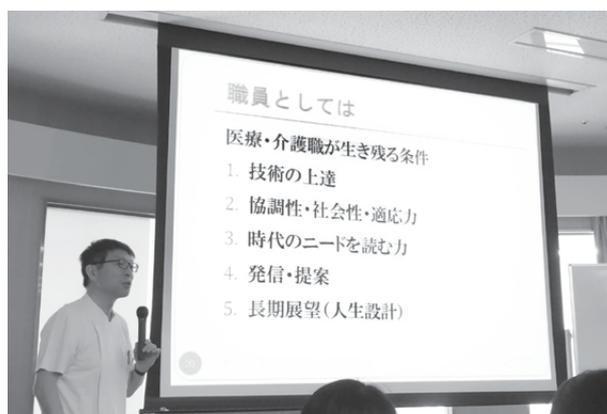
## 平成29年度新人教育集合研修を開催しました



理事長の新人時代の貴重な話を皆さん熱心に聞きっていました



鎖ゲームで、次々と条件が付く中、チームとしての力を引き出すことが求められました



新生ポバース記念病院の長期展望や今後、医療職に求められる力等について学びました



実際にあった相談事例をもとに意見を出し合いました

3月27日、28日、30日、31日の4日間、平成29年度の新人教育集合研修を開催しました。本研修は、新人職員がスムーズに現場で業務に取り組めるように、30年以上前から毎年実施しており、大道会職員として働くうえで必要な知識、スキル、考え方等幅広い分野の内容を学びます。

今回の特集では、「経営層から新入職員へのメッセージ」、「地域で患者さんを支える地域包括ケアシステム」、「新生ポバース記念病院が目指すもの」の3つのテーマに注目します。

### 経営層から 新入職員へのメッセージ

研修初日は、天野常務理事の講義からスタートし、大道会のより良い病院づくりをする姿勢や新人に求められるポイント等を学びました。また、宮井副理事長からは、昨年、地域包括ケアシステム構築を見据えて見直された森之宮病院の理念や基本方針等の説明があり、果たすべき森之宮病院の役割を理解することができました。

大道理事長は、「経営トップから新人

に望むこと」と題し、「正確な知識・技術を習得するために、新人はこの1年間、誰に何を聞いてもよい特権がある」と新人職員へ温かいメッセージを送りました。

### 地域で患者さんを支える 地域包括ケアシステム

地域支援事業の講義では、モニター会や健康教室、オープンホスピタル等、地域の方々と一緒に様々な取り組みを行っていることを学びました。

また、「未来創造プロジェクト」の講義では、脳性まひセンターの構想や多職種間の連携の重要性、情報共有を強化していくための大道会流の地域包括ケアシステムの説明がありました。

### 新生ポバース記念病院が 目指すもの

ポバース記念病院の荒井新院長の講義では、2007年にリニューアルして、10年目を迎えたポバース記念病院

は、「回復期リハビリテーション」と「障がい者リハビリテーション」の2つを柱に、新たなリハビリテーション病院に移行していくことを学びました。そして、今後は、乳児から成人に至る、脳性まひがある方に生涯を通じて継続的な医療を提供できる脳性まひセンターをめざしていることを知りました。保健所や支援学校との連携を強化し、子供達が遊園地に来るような感覚で通院できる病院づくり等の今後のビジョンに新入職員は興味深く耳を傾けていました。

その他、グループワークの鎖ゲームでは、役割分担を行い、連携をとることで作業の効率化を図ったり、医療業界に必要な接遇講習を通して、社会人としての基礎を学んだりしました。

この研修で学んだことを忘れず、大道会の職員として地域の医療・介護に貢献できるように成長していくことを期待しています。

平成29年度新人教育集合研修プログラム

	3月27日(月)	3月28日(火)	3月30日(木)	3月31日(金)
研修内容・講師	入職式	本部管理部 井山管理部長 「未来創造プロジェクトについて」	大道理事長 「経営トップから新人に望むこと」	宮井副理事長 「森之宮病院が目指すもの」
	オリエンテーション (新人研修を受講するにあたって)	森之宮病院看護部 正壽副部長 トレーナー講義① 「社会人に必要なコミュニケーションの基礎」	森之宮病院歯科診療部 旭部長 「両病院の歯科診療について」	森之宮病院事務部 理事長秘書 川谷主任 (医療コンシェルジュ) 「接遇講習 ～敬語について～」
	天野常務理事 「新人に望む10のポイント 社会医療法人の使命と役割」	森之宮病院看護部 柴田副部長 福井副部長 館川科長 トレーナー講義② 「社会人に必要なコミュニケーションの基礎」	森之宮病院看護部 感染管理認定看護師 吉田科長「院内感染について」	
	グリーンライフ 濱田施設長 「介護老人保健施設グリーンライフについて」	森之宮病院 医療社会事業課 藤井課長 地域医療連携室 杉浦課長 トレーナー講義③ 「社会人に必要なコミュニケーションの基礎」	森之宮病院事務部 水谷課長 「診療報酬・保険のしくみ ～あなたが受診するときのために～」	本部渉外担当 峰部長 三登課長 「医療機関における 防犯・防災について」
	ポバース記念病院 荒井院長 「新生ポバース記念病院が目指すもの」	森之宮病院 帝国ホテルクリニック 企画広報部 貝塚課長 森之宮病院事務部 下里主任 トレーナー講義④ 「社会人に必要なコミュニケーションの基礎」	本部管理部人事課 上野課長 「個人情報保護、就業規則、 ハラスメント、人権、社会保険について」	
	森之宮病院 医療社会事業課 藤井課長 「大道会が行う地域支援事業について」		森之宮クリニック企画広報部 荒木課長(医療コンシェルジュ) 「接遇講習 ～患者と顧客対応の 実践～」	城東消防署 「防災について」
帝国ホテルクリニック 健診部内科 沖永医長 「メンタルヘルスケアについて」		在宅事業部 安井統括管理者 「大道会の在宅関連事業 について」	城東警察署 「防犯について」	
		大道クリニック 片山事務長 「人工透析について」		各施設に配属
		互助会 長尾会長(H28年度会長) 「互助会活動について」		
		森之宮クリニック 吉田部長 「森之宮クリニックの 官民協調事業について」		

新人職員 研修レポート

新人職員が研修後、提出したレポートの中から、抜粋して紹介します。



**深い専門性に加えて幅広い知識を蓄え、  
実りある1年にしていきたいです**

宮田 彩加 森之宮病院診療技術部薬剤科

天野常務理事の「新人に望む10のポイント」で、心がけようと感じた事は「小さくても何か一つ目標を持ち、達成時期のゴールを決める」という事です。一つ一つ達成し続けることで大きな成果が得られる事を学びました。また専門的な分野に特化している「I字型人間」から脱却し、専門性と知識をバランス良く身につけている「T字型人間」が必要とされていることを知り、これから1年間、分からない事は聞き深い専門性に加えて幅広い知識を蓄え、実りある年にしていきたいと思いました。



**大道会が取り組んできた地域住民に  
寄り添った活動を知ることができました**

筧谷 麻依子 介護老人保健施設グリーンライフ  
事務サービス部地域課

医療社会事業課藤井課長の講義の「大道会が行う地域支援事業について」では、地域住民に寄り添った取り組みが紹介されました。特に「モニター会」では、地域住民の意見を聴いて思いを受け取り、その場で返事・対応までしていることには驚き、この行動力こそが、大道会の基盤にあるのだと知りました。その他、大道会が築いてきた様々な活動や社会への積極的な働きかけなども知ることができ、関わっていきたくと思いました。そして、自分ができることは何か、自分にしかできないことは何かを考え、常に向上心を持って、何事にも取り組んでいきたいと思っています。



**ポバース記念病院の新体制について  
学ぶことができました**

二之宮 慶絵 ポバース記念病院リハビリテーション部  
作業療法科

ポバース記念病院荒井院長の講義では、ポバース記念病院がめざしている、脳性まひの分野に対してより専門的に深く、期間として長く一生を見据えて患者さんに寄り添うことができる新体制について学ぶことができました。ポバース記念病院に配属される私は、セラピストとして脳性まひの方に関わることができる環境で働くことに大きな期待を抱いています。さらに幅広い知識や技術などを多く習得するため、荒井院長の下で向上心を持つ同じ職員の方々と、日々高めあっていきたいと決めました。



**相手が分かりやすいように伝えることが  
重要であると学びました**

岸本 枝里子 森之宮クリニック企画広報部

グループワークの講義では、医療職に求められるコミュニケーションの基礎を学ぶことができました。伝えたいことを相手に確実に理解してもらう為に、抜け・モレのない説明方法の1つである「5W2H」で文章作成を練習しました。また、会話では相手の目を見て、ボディランゲージを取り入れることで、より伝わりやすくなることが分かりました。相手に、分かりやすいように「伝える」工夫をすることは、思いやりにも繋がると思いますので、学んだことを活かし、円滑なコミュニケーションを心掛けたいです。

## 発表報告

### 2nd International Brain Stimulation Conference 2017



ポハース記念病院  
リハビリテーション部  
理学療法科  
(4月よりグリーンライフ  
療養サービス部1科)  
**山下 彰**

#### 非侵襲的な新しいヒトでの脊髄可塑性誘導方法を発表

日程：平成29年3月6日～8日  
場所：スペイン バルセロナ

バルセロナ市のNH Hesperia Towersで、出版社であるELSEVIER主催の「2nd International Brain Stimulation Conference 2017」が開催されました。参加者は800名で、基調講演8演題、シンポジウム81演題、一般演題がポスター形式のみで480演題でした。

私は3年半ぶりに演者として参加し、ポスターにて「Spike-timing dependent plasticity at spinal motoneurons; 脊髄でのスパイクタイミング依存性可塑性」を発表しました。2年間、毎月3日ほど福島県立医科大学へ通い、実験したデータの一部をまとめた内容です。ポスター発表



ポスター発表を行った  
山下科員

では、新しい非侵襲的な一次運動野への経頭蓋磁気刺激と末梢神経への電気刺激との連合性ペーパ刺激を用いて、ヒトでの脊髄可塑性誘導方法の有用性を示すことができました。

今学会では、他国の演者達と多く議論ができ、今後の課題を見つけることができました。私の発表の評価は「Great Data」早く論文にして送って欲しい」とのご意見もありましたが、磁気刺激系の実験では世界No.1の研究資金と業績を残しているUCI(ロンドン大学)をはじめ、その他欧米の著名な研究者から有益な意見や厳しいコメントも頂き、感無量でした。数あるポスターの中から、わざわざ調べて見に来て頂いたことにやりがいを感じました。これも、福島県立医科大学の宇川教授のご指導と偉大な業績があったことからです。今後も地道に研究を継続していきたいと考えています。

## 発表報告

### 回復期リハビリテーション 病棟協会 第29回研究大会 in 広島



森之宮病院  
リハビリテーション部  
理学療法科  
**川口 未央**

#### リハビリにおけるスマートフォン の有用性について発表

日程：平成29年2月10日・11日  
場所：広島国際会議場

今研究大会のテーマは「回復期リハビリテーション病棟のレベルアップ・スピードアップ・フォローアップ」で、私はレベルアップにおいて、「疼痛改善や意識疎通獲得を目指したチームアプローチ」スマートフォンの操作再獲得によりリハ介入が効率的になった重度機能障害の一例」について発表しました。

発表の対象となったのはまだ若いのに重い運動障害が生じた方で、入院当初は全く話ができず、自分ではほとんど動けないため筆談もできない状態でした。緊張が強かったため、寝た姿勢で少し頭を挙げたり姿勢を変えたりするだけでも痛みを訴えられ、看護師やセラピストがベッド上で姿勢を設定したり、車椅子に座ることを試みたりしても、泣き叫んだり介助者を叩いたりして強く拒否されていました。リハビリの主な阻害因子は動かされた時の痛みと介入に対する恐怖感であると考え、チームカンファレンスを開いて多職種が連携した対策を講じました。医師は内服薬を用いて身体の緊張を軽減し、看護師はリハビリ場面に同席して精神的な不安を和らげました。セラピストは緊張の緩和や関節可動域拡大を進めると同時に、自らできることを広げて意欲を高め、痛みや不安等をうまく伝えるための工夫を考えまく動かせる右手を用いて、受傷前に

## 参加報告

### 医療事故調査制度に係る トップセミナー



ポハース記念病院  
診療技術部  
薬剤科長  
**稲井 敬子**

#### 医療安全推進体制を再考する 良い機会となった

日程：平成29年2月2日  
場所：大阪国際交流センター

慣れ親しんでいたスマートフォンを使うことを提案しました。座ってスマートフォンを操作することが目標になり、徐々に座る時間が増え、看護師や友人との交流が豊かになり、リハビリや車いす移動への意欲が高まりました。今回の症例を通し、各職種の目標と行動を明確にしたチームアプローチを行ったことや、混乱期の改善に向けたコミュニケーションには親和性が高く、興味の向きやすいツールが有用であることが確認できました。また残存能力を生かし、疼痛に配慮しながら段階的に機能性を向上する環境設定が有効であると考えます。

今大会では、他院でのチームアプローチや多職種の視点を生かした介入例の報告等を見ることができ、自分の引き出しも広がりました。今回学んだ事を日々の業務に生かしていきたいと思えます。

各医療機関の管理者等を対象に、院内医療事故調査の基本的事項の習得を目的としたトップセミナーに参加しました。

平成27年10月より医療事故調査制度が施行され、1年以上が経過しました。この制度は、医療事故が発生した医療機関で院内調査を行い、その調査報告を民間の第三者機関(医療事故調査・支援センター)が収集・分析することで、再発防止につなげ医療の安全を確保することを目的としています。この制度における医療事故の判断ポイントとして、「医療に起因するもの」と「管理者が予期しなかったもの」が前提となりますが、以下の4点が言及されています。「予期していたならば必ず対応策はとる」、「当事者が死亡を予期していたのであれば、急変等の前に予期し、家族への説明・了解は原則である」、「インフォームドコンセントでは、十分な説明やその内容の納得・了解が必要で、記録に残すことが大事である」、「病態悪化の把握やカンファレンス等で対応の検討をしても、その記録や家族への説明がない場合は、予期していたことにはならない」を挙げています。

病院管理者は、医療事故調査の要点である報告体制として報告連絡ルート(1)の整備、初期対応体制としてマニュアルの作成、遺族対応が適切になされる体制作り等について事前に

備えておく必要があります。また、院内調査を実施する際の注意点として、「個人の先入観での判断ではなく、院外委員が加わる調査制度の活用を考慮する」、「1回の院内事故調査だけで結論を出すのではなく、報告書の作成過程で審議の熟成を図る」、「聞き取り調査は大事であるがその時期や心情への配慮等を考えなければならぬ」等が挙げられました。

セミナーでは複数の事例が演習として挙げられ、この医療事故調査制度への該当の有無は参加者の中でも考え方が様々でした。「医療に起因するもの」と「管理者が予期しなかったもの」という前提をよく理解し、個々の該当事例について考えていく必要があると感じました。医療安全管理者として、該当事例が発生した時にも、スムーズに対応できる体制を作っていきたいと思います。

### 参加報告



森之宮病院看護部  
3階病棟  
横田 彩

## あなたが変われば チームが変わる メンバーの行動を変える 対人力アップの近道

### 対人力とは何か

### 研修を機に改めて考えたい

日程：平成28年12月13日  
場所：大阪府病院年金会館

今回この研修に参加し、コミュニケーションスキルのひとつである「対人力」について4つのポイントを学びました。

まずは、人が育つ職場づくりです。「一見ただの写真に見えても、見方を変えると違う物が見えてくる」という話の中で、相手ではなく自分自身が変われば、相手の存在が変わるという事を知りました。見た目(固定観念)に囚われてしまうのではなく、その人に合った能力・仕事を、その人自身に見つけてもらうことで自分の力を発揮できることを学び、1人ひとりを大切にすることがチームワークの始まり(個人の成長⇨職場の成長)なので、私自身も1人ひとりが成長できる職場づくりを目指したいと思いました。次に、人は6つのパーソナリティ・タイプに分類されるといふことです。人はそれぞれ考え方や行動の仕方等タイプが異なるため、お互いのことを理解しようとするのが大切です。お互いの個性・価値観を認めることで「対人力」が向上し、よりチームワークが育つということを学びました。より良い看護を提供するためには、自分の考えだけでなく相手の意見や考えを少し受け入れ、行動していくことが大切なのだと思えました。3つ目は、相手に影響を与える方法です。伝えたいことが伝わらない時は、その時々に応じ言い方や態度を変えてみ

ることで、相手により効果的に影響を与えることが出来ます。また誰かを責める際、人を指さす指のうち3本は自分に向いているため、「人に助言・指導する際は3倍自分を見る」ことが大切との話があり、何かあった時に誰かを責めるのではなく、まず自分自身を見つめ直すことを意識しながら行動していこうと感じました。最後に、「社会的手抜き」を防ぐ方法です。綱引きを1人で引く張るよりも、複数で引く張ると1人の力が弱まるという実験結果があります。それは「社会的手抜き」と言われ、仕事においても同じような現象が起こり得ます。そうならないためには、チームリーダーが「多様性」と「自律性」を意識し行動していく必要があります。また、あるテーマに関する情報を共有し、その分野の知識や技能を、持続的な相互作用を通じて深めていく集団のことを「実践共同体」と言い、それが実践されると組織も個人も成長すると考えられ、看護の仕事も実践共同体にしていくことが大切なのだと思えました。

今回の研修で、対人力とは何かを改めて考えるきっかけとなりました。今後は自分の行動を少しずつでも変えていき、相手を動かすのではなく、相手の思いや力を引き出せるような力を身に付け、さらにチームワークを高めていけるよう、日々の業務に取り組んでいきたいと思えます。

森之宮病院

## 音楽鑑賞会を開催しました

平成28年11月16日、森之宮病院1階こもれび広場で、入院患者さんやご家族が大勢集まった中、合唱の鑑賞会が行われました。

今回も、男女7人構成の合唱集団「Ensemble Musicus（アンサンブル・ムジクス）」の方々をお招きし、アカペラを披露して頂きました。クリスマスが近いこともあり、英語詩の讚美歌や、いつも歌って下

さる『ふるさと』等、約30分間、広場いっぱい美しい歌声が響き渡りました。

歌って下さる歌の一曲一曲に心が込められており、終わるたびに大きな拍手が起りました。皆さん真剣に聞き入り、心安らぐ時間を過ごせました。

（森之宮病院画像診断部画像診断科 居倉かえで）



音楽鑑賞会の様子

サンローズ  
オオサカ

## 初詣に行きました

1月20日、石切神社に初詣に行きました。午前中に降っていた雨も止み、天候にも恵まれました。神社に到着すると、神妙な面持ちでお参りをされ、おみくじの結果に一喜一憂されていました。お参り後の喫茶店では何を飲食されるか盛り上がり、いつもと違う雰囲気や久々の外出を、笑顔いっぱい楽しんで頂きました。また、「今日は楽しかった。ありがとう」、「やっぱりお正月に初詣に行

くのはええ事やね」とのお言葉を頂きました。

サンローズオオサカでは、QC委員会として行事委員会があり、毎月ご利用者に喜んで頂ける企画を考え実施しています。今後も、ご利用者に楽しみのある生活を送って頂けるような企画を考えていきたいと思

ます。  
（サンローズオオサカ介護サービス課 森亮司）



おみくじを引いてにっこり

## 病院職員永年勤続表彰で5名の職員が受賞



森之宮病院  
診療部医療社会事業課課長  
藤井 由紀代

森之宮病院  
診療部医療安全担当主幹  
竹下 誠一

森之宮病院  
診療部医療社会事業課課長  
藤井 由紀代

森之宮病院  
リハビリテーション部  
言語療法科科长  
田子 歩

ボバース記念病院  
看護部病棟看護科2階主任  
江本 幸代

法人全体

## 第41回 病院職員 永年勤続表彰者

一般社団法人大阪府病院協会が主催する病院職員永年勤続表彰は、昭和52年より協会員の病院に勤続する職員の中から勤続20年を迎えた優秀な職員を表彰するものです。昨年度までで延べ3441病院、1万8490名に表彰状を贈呈されています。

今回は大道会から5名が表彰を受けました。平成28年12月21日、表彰式が大府府病院年金会館で行われ、森之宮病院の診療部医療社会事業課の藤井課長が代表として授与されました。これからの質の向上と活躍に期待します。

## 第5回地域ケアマネジャー向け 勉強会を開催しました

今回の勉強会では近隣地域から18事業所、30名のケアマネジャーに参加頂きました。今回は「リハビリテーションの基礎」というテーマのもと、「リハビリテーションの定義」、「PT・OT・STの専門性の違い」、「デイサービスとデイケアの違い」、「訪問リハビリと訪問看護ステーションからのリハビリの違いや使い分け」等について、事例紹介を混じえながら説明しました。

後半では、参加して頂いたケアマネジャーと、日頃困っていることや地域を支える為の多職種連携の重要性等についての意見交換を行い、私達にとっても大変学びの多い時間となりました。

また勉強会後のアンケートでは、様々なリハビリテーションの違いについて理解が深まったという回答や、今後の業務に生かせる内容だった、との感想を多数頂くことができ、非常に充実した勉強会になったと感じています。

今回の勉強会を通して、地域がリハビリ専門職に期待している事を再確認できましたが、地域を支えるためには、さらに密に



リハ専門職(PT、OT、ST)の違いについて説明する  
堀江課員(訪問看護ステーション東成おおみち/OT)

連絡を取り合えるような多職種間の関係性づくりが非常に重要だと感じました。

今後はさらに良いサービスを地域のご利用者へ提供できるよう、今回の勉強会で学んだことを生かしていきたいと思えます。

(在宅事業部訪問看護ステーション東成おおみち 平尾裕美)



## 頑張っている職員をご紹介します #57

森之宮クリニック診療技術部

**池田 幸弘 科員**

森之宮クリニック診療技術部新人の池田幸弘さん(診療放射線技師)を紹介します。

池田さんは岡山県真庭市出身で、好きな食べ物はお婆さんの作ったオムライスです。スポーツは軟式野球を小学校から大学までしており、大学時代にはチームの最優秀選手として表彰を受けている生粋のスラッガーです。クリニックでの仕事ぶりはシャイな性格で言葉数は少ないですが、受診者さんに対して新人教育集合研修プログラムのグループワーク講義で習得した5W3Hを意識した良好なコミュニケーションで対応しています。受診者さんの気持ちを第一に考え、望んでいることを実行し、相手が笑顔でありがとうと言ってくれた時に、この仕事での楽しさとやりがいを感じると話しています。

多少不器用ですが、何事にも一生懸命で頑張り屋の性格なので、これから良い先輩になっていくと思います。今後楽しいことだけではなく、困難や乗り越えなければならない壁がどんどん現れると思いますが、先輩や後輩と力を合わせて色々な経験をし、野球でチームを引っ張っていた時のキャプテンシーで大道会の大きな柱となることを期待しています。

(森之宮クリニック診療技術部 岡利充)

キャプテンシーの  
申し子



池田幸弘さん

## ■ 荒井新院長就任のお知らせ

ボバース記念病院では4月1日付にて今林美喜夫前院長に代わり荒井洋前副院長が新院長に就任しました。ボバース記念病院は荒井新院長の下、法人各施設との連携を密にし地域包括ケアシステムに貢献するとともに、脳性麻痺がある方を生涯を通じて支える病院をめざしてまいります。今後ともよろしく申し上げます。

(ボバース記念病院事務部部长 田中啓介)



## ■ 森之宮病院診療部形成外科 藤原貴史医師の論文が医学ジャーナル”Journal of Plastic, Reconstructive & Aesthetic Surgery”に掲載されました

このたび、私の執筆した論文”Vertical breast measurement in East Asian women: A guide for mastopexy and reduction to form nonptotic breasts in unilateral prosthetic breast reconstruction.”が形成外科では世界的に権威のある英国の医学ジャーナル”Journal of Plastic, Reconstructive & Aesthetic Surgery”(2017; 70: 229-235.)に掲載されました。乳癌術後乳房再建の目的は、欠損部分を補填し乳房の左右対称性を再現することであり、しばしば健側乳房の形態を患側に見合うように修正する手術を行います。その際、手術デザインが非常に重要で成否を左右するにもかかわらず、これまで確立したデザイン方法はなく術者の経験に負うところが大きいものでした。そこで我々は詳細な乳房形態の計測を行い、経験に頼らない誰もが安定した結果を残せる新たな手術デザイン方法を考案し、発表しました。今後も、汎用でき、かつ再現性のある形成外科手術への発展の一翼を担いながら日々の臨床に取り組んでいきたいと思っております。

(森之宮病院診療部形成外科 藤原貴史)



## ■ ご寄付・ご寄贈を頂きました

秋田悦男様(都島区)、村田浩一様(東住吉区)よりご寄付・ご寄贈を頂きました。ありがとうございます。有意義に活用させていただきます。

## ■ 編集後記

今年も約100名のニューフェイスを法人に迎えることができました。多くの同期生がいることは仕事上でも心強いですし、プライベートでも楽しみが増えると思います。皆さん！大道会のニューフェイス達をどうぞよろしく申し上げます！

(ボバース記念病院診療技術部画像診断科科长 後藤慎二)

**Live30 [ライブ・サーティ]**  
2017年5-6月号  
vol.222 (隔月発行)

編集発行人/社会医療法人大道会  
〒536-0023 大阪市城東区東中浜1-5-1  
TEL.06(6962)9621  
FAX.06(6963)2233

●本法人の経営理念  
1. 社会から信頼される病院・施設づくり  
2. 安定した経営基盤の確立  
3. 職員の福祉向上と人材育成

●職員行動モットー  
親切丁寧に(受診者・お客様・ご利用者)  
待たさない/よく説明する/  
連携する

### ■ 社会医療法人大道会

社会医療法人大道会本部

☎06(6962)9621

森之宮病院

☎06(6969)0111

ボバース記念病院

☎06(6962)3131

森之宮クリニック(PET 画像診断センター)

☎06(6981)9600

帝国ホテルクリニック(人間ドック)

☎06(6881)4000

### 大道クリニック(人工透析)

☎06(6961)5151

介護老人保健施設グリーンライフ

☎06(6965)0666

訪問看護ステーションおおみち

☎06(6967)1123

訪問看護ステーション東成おおみち

☎06(6977)8680

ケアプランセンター城東おおみち

☎06(6964)5285

ケアプランセンター東成おおみち

☎06(4259)5311

### 東中浜ケアプランセンター

☎06(6962)3777

レンタルケアおおみち

☎06(6967)6250

### ■ 社会福祉法人山水学園

特別養護老人ホームサンローズオオサカ

☎06(6974)7388

東成山水学園(保育園)

☎06(6974)7377